

# 「アイスト倶楽部」の設立について

平成20年5月15日  
東京電力株式会社

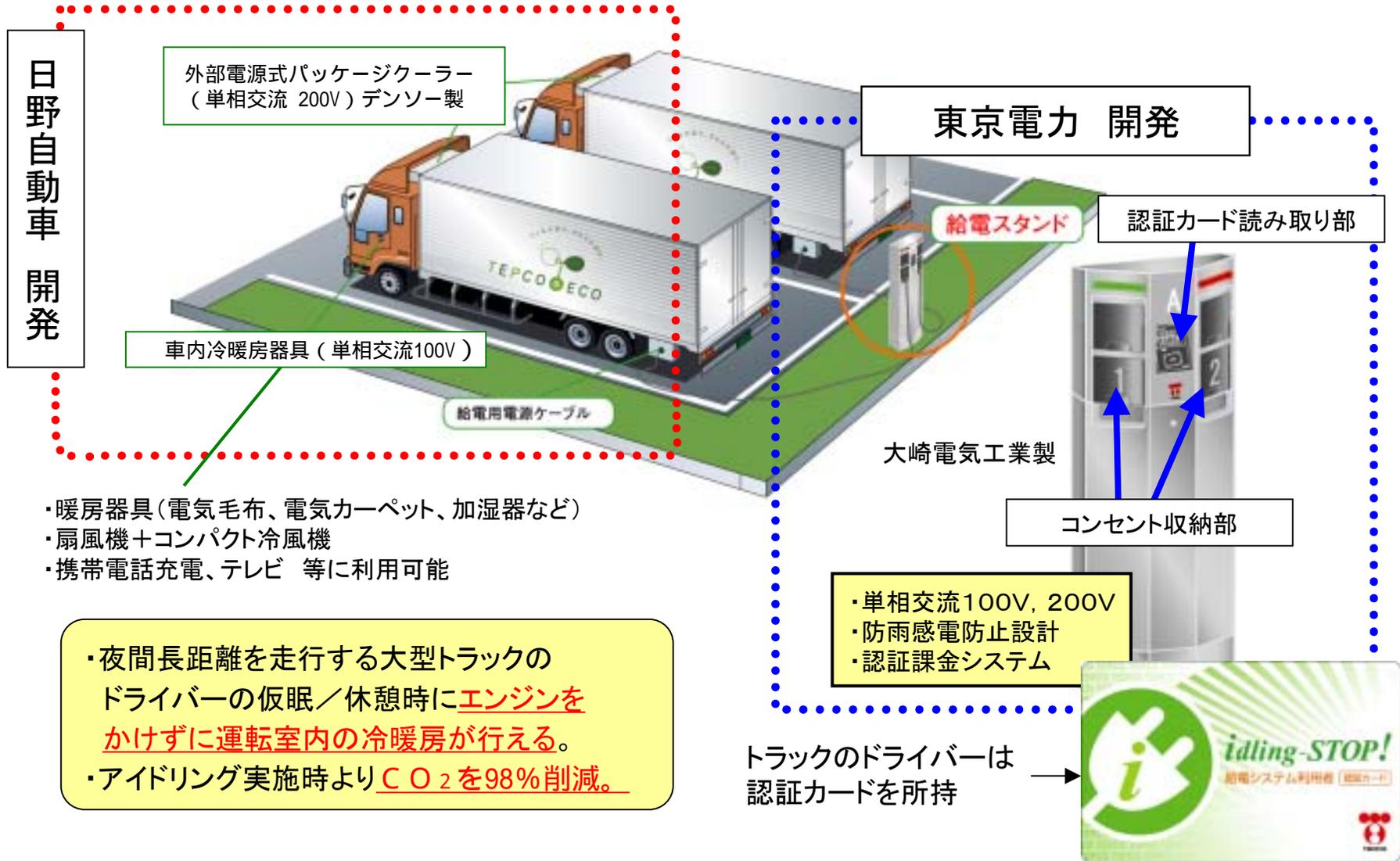


東京電力



# 「外部電源式アイドリングストップ冷暖房システム」の概要

外部電源式冷暖房装置と給電スタンド(駐車場に設置)で構成



# これまでの給電スタンド設置箇所

- 東京電力は、全国のトラックステーション(TS)\*<sup>1</sup>7地点に、計50基(100台の車両に給電可能)の給電スタンドを設置\*<sup>2</sup>し、平成19年10月より運用開始

\*<sup>1</sup> (財)貨物自動車運送事業振興センターが運営する、営業用トラックドライバー向けの休憩・休養施設

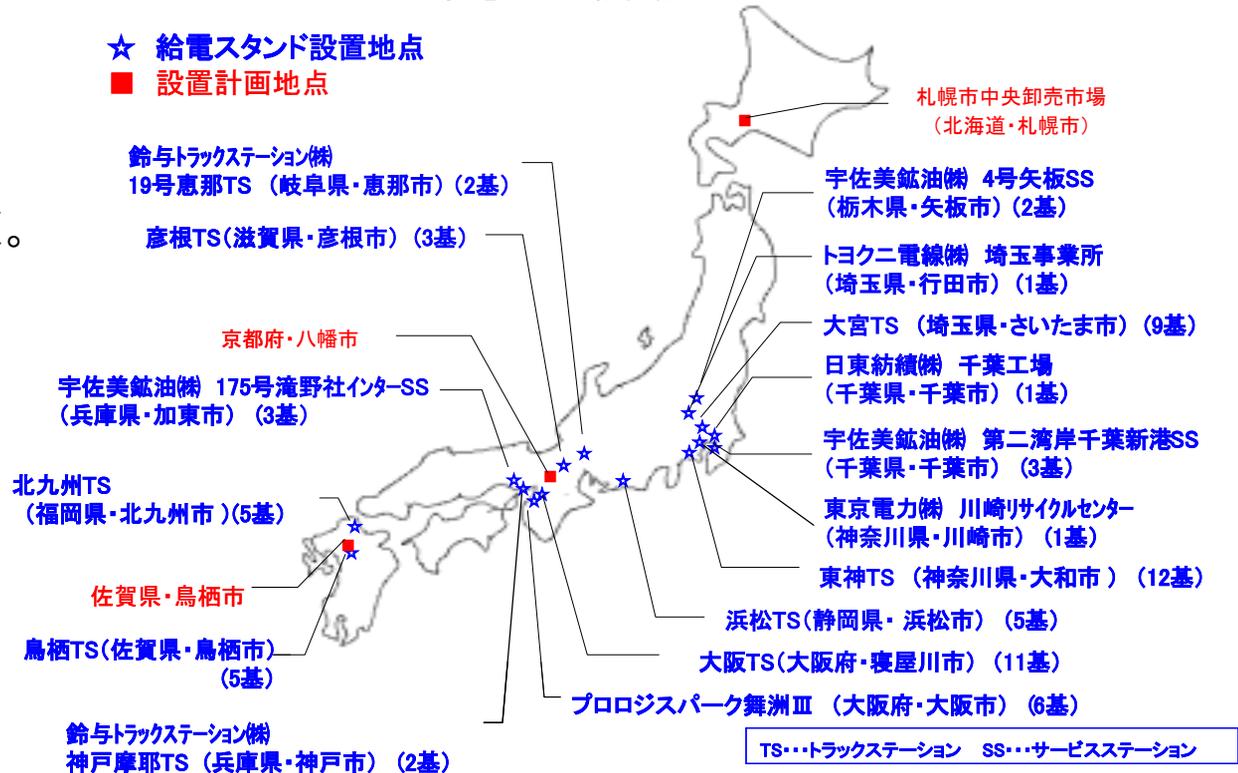
\*<sup>2</sup> 平成19年度「環境省地球温暖化ビジネスモデルインキュベータ制度」を活用

- 加えて民間企業等の協力により、9地点に21基(42台の車両に給電可能)の給電スタンドを追加設置。  
計 全国16地点・71基(142台分)の給電スタンドを設置済み(平成20年3月末現在)

- 平成20年度も札幌市中央卸売市場に「給電スタンド」が導入される予定であるなど、今後も、インフラ面での普及を図っていく。

- 「給電スタンド」に対応した「外部電源式冷暖房装置」搭載車両は、日野自動車が販売。平成19年度末時点で60台のトラックが装置を導入。今夏より本格利用を開始。

＜給電スタンド設置箇所＞



# 運送事業者＋駐車場所所有者＋東京電力によるソリューション

- 本システムは、環境負荷削減にむけた新たな取り組みに、積極的にチャレンジする方々と東京電力が共同で取り組むソリューション
- 「インフラ(給電スタンド)の普及」と「装置導入車両の普及(利用者数の拡大)」の両輪が回ることにより初めてシステムの普及に繋がる

⇒ まだ滑り出しの段階であり、これから普及に向けて一層の努力が必要!



## 駐車場所所有者(民間企業等)

- **駐車場の環境改善**  
アイドリングストップにより
  - ・ CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>などの排出量削減
  - ・ 騒音の低減

## 運送事業者

- **環境負荷削減への寄与**  
CO<sub>2</sub>削減量を毎月把握  
荷主へのPR、省エネ法対策
- **運転手の快適環境の創出**  
ドライバーの安全、安心運転へ貢献
- **コストダウン**  
無駄な軽油消費を削減



東京電力

# 「アイスト倶楽部」設立の考え方

- 東京電力が発起人、システム共同開発者（日野自動車、大崎電気工業、デンソー）が協賛企業となり、本システムを利用する運送事業者や給電スタンドが設置されている駐車場所所有者などを共同発起人・会員とする組織「アイスト倶楽部」を、6月上旬を目途に設立

## 「アイスト倶楽部」設立の理念と狙い

### 『共創』事業として、理念を共有

- 環境負荷削減ニーズが高まるなか、異なる企業・組織が環境負荷削減を共同で推進

### システム訴求力の向上を図る

- この取り組みに賛同する企業・組織が「アイスト倶楽部」として、一体となって情報発信を実施

本システムの一層の普及促進と会員企業の企業価値向上を目指す

# 「アイスト倶楽部」の活動内容(予定)

## 会員が共同で情報発信

- ・ 倶楽部会員の関連地域で、会員相互の情報・意見交換、広報活動を行う  
**「連絡会議」の開催** (第1回は6月上旬に札幌市で開催予定)
- ・ 倶楽部の活動やシステム利用の声などを、広くお知らせする  
**「情報紙」の発行**
- ・ 環境や物流に関連する催事・行事の場を活用した**「企画展」への共同参加**
- ・ 倶楽部の運営は「三菱総合研究所」が実施

## 会員相互間の情報交換

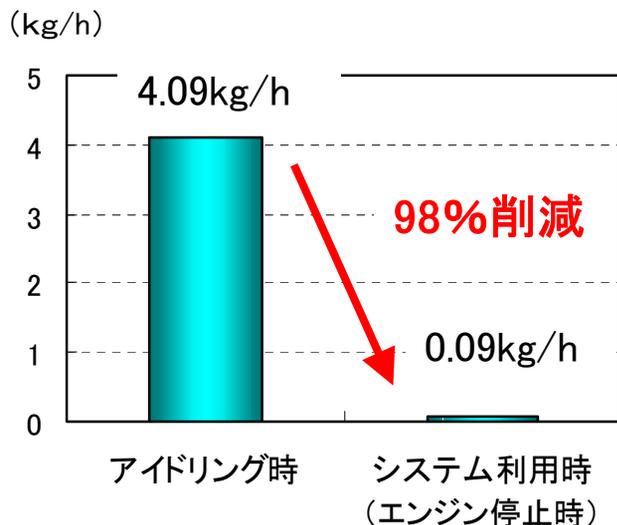
- ・ システムに関する情報交換、各会員企業の事業活動全般の情報交換
- ・ 新たなビジネスチャンス醸成 (運送事業者と荷主など)

# <参考1> CO<sub>2</sub>削減効果、コストダウン効果

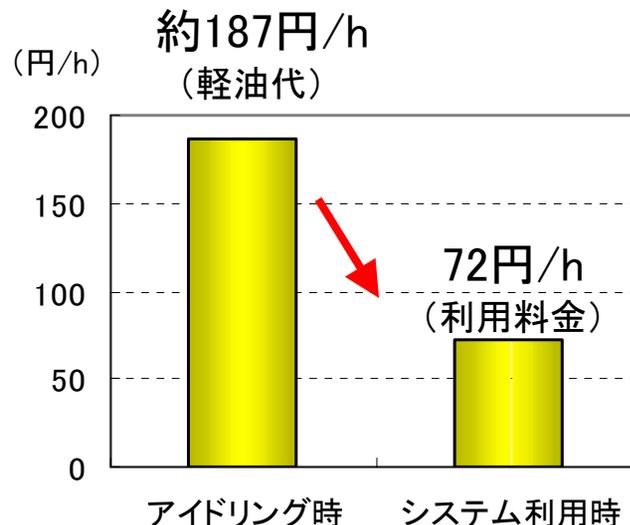
## ◆ 大型トラック1台のアイドリング1時間あたりの試算例 (実証試験結果を踏まえ試算)

\* 実証試験期間: 平成17年8月1日～平成18年10月31日

### <CO<sub>2</sub>削減効果>



### <コストダウン効果>



#### <試算根拠>

- ※ 軽油のCO<sub>2</sub>排出係数=2.62[kg-CO<sub>2</sub>/ℓ] (環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」ver.1.2: 平成19年2月公表より)
- ※ 一般電気事業者10社のCO<sub>2</sub>排出係数=0.425[kg-CO<sub>2</sub>/kWh] (電気事業連合会「電気事業における環境行動計画」平成18年9月22日公表より)
- ※ 大型トラックの燃料消費量=1.56ℓ/h (代表的な数値として環境省HPより引用)
- ※ 消費電力量は、実証試験期間中の電力消費量の平均値=0.22kWh(電力消費量/接続時間)
- ※ 軽油単価: 120円/ℓと仮定

なお、天候、気温、クーラーの温度設定、車両の整備状況、燃料費の変動等、その他様々な要因により、CO<sub>2</sub>削減量やコストダウン効果は変動いたします

**【大型トラック1台あたり】年間約6トンのCO<sub>2</sub>排出量を削減 / 年間17万円程度のコストダウン**

\* 車両の冷暖房装置の購入費用及び本システムの基本料金(認証カード1枚につき月額1,050円(税込))は含まれておりません。

\* 利用実態に即した条件(大型トラック1台が、1日平均6時間、年間250日間アイドリングストップした場合)で試算。

## <参考2> 「アイスト倶楽部」設立時の体制(予定)

発起人

東京電力(株)

共同発起人

(株)宇佐美鉱油

中日本高速道路(株)

日東紡績(株)

富士運輸(株)

協賛企業

大崎電気工業(株)

(株)デンソー

日野自動車(株)

会員

(株)アルコン

(株)インタカーゴ

小林運輸倉庫(株)

札幌市中央卸売市場

札幌豊栄輸送(株)

(株)サンワネッツ

鈴与トラックステーション(株)

東電物流(株)

トヨクニ電線(株)

プロロジス

(株)松尾運送

( 50音順 , 随時増加していく予定 )